

# ヨシナカ新聞

4月号  
発行所  
株式会社ヨシナカ  
東京営業所  
TEL: 03-3555-0796

## はやぶさ

住まいの近くにある行船公園内の自然動物園にははやぶさがいました。鋭い目の精悍な面持に圧倒されながら、恰好良さに惚れ惚れとしてしまい、何回もシャッターを押し続けてしまいました。新年度を迎えてはやぶさのように鋭い感性を持つて過ごしたいという気持ちも込めて掲載させて頂きました。



はやぶさの語源は『早い翼(つばさ)』。ワシタカ目のハヤブサ科。世界最速の鳥で最高時速390kmで飛行するそうです。

狩りの際はそのスピードを活かして獲物(鳥類)の上から急降下して足で捕えます。狙われたら逃げる事が大変困難でしょうね。野生では海岸や山の断崖に巣を作り、ほとんどペアを変えずに一生を過ごします。

このはやぶさ、分布域は広いものの個体数が減少しているため、国際的な保護がされています。日本全体の羽数も700〜1000羽と数が激減しているそうです。生息地、営巣地の現状として人工建造物の増加による減少や、農薬中毒の獲物を食べて中毒死してしまうこと、産んだ卵の数が薄い、ふ化できないことが主な原因です。

国内の動物園では飼育下の繁殖に成功していないのが現状で、この動物園でも繁殖できるよう管理しているそうです。

## K社員のエレク トーン奮闘記

ピアノの演奏を終えて自分の席に戻り、少し落ち着いたのか、飲み物も素直に喉を通るようになって来ました。次はエレク トーンの演奏です。約1時間後に順番がまわってきました。名前を呼ばれて舞台にあるエレク トーンまで行き、データが入っているUSBメモリを差し込み、幾つかのボタンを押して設定、最後に靴を脱いで椅子に座り、深呼吸します。そして、出だしのホルンを奏でます。よし、ここは大丈夫だ。

そして、プログラムを進行させるボタンを押します。リズムが自動的に流れ出し、それに合わせて左手はコード、右手は主旋律、左足はベース音を演奏していきま

す。練習を頑張ったせい、あまり不安もなく中間まで進むことが出来ました。ここで、右手はフルートに変わります。先生から息継ぎなしでは死にますよとアドバイスを頂いた箇所です。

## 大和言葉

先日のラジオで、東日本大震災の復興支援ソング『花は咲く』の歌詞の9割が大和言葉だということ、そして手紙やメールでこの大和言葉を使っているのを見て、相手の心に染み入るとの内容を聴き、とても興味を持ちましたので、今月号と来月号の2回に分けて紹介させていただきます。

大和言葉とは日本で生まれた言葉です。私達が使っている日本語の単語は、日本列島で生まれた大和言葉、中国から伝わってきた漢語、欧米から伝わってきた外来語の3種類に分かれます。

外来語については説明の必要はないと思うのですが、割愛させて頂きますが、漢語と大和言葉の区別は大まかに言えば、漢字の音読みの言葉が漢語、訓読みが大和言葉です。例えば、『身長』『体重』『胸囲』が漢語、それに對して『背丈』『目方』『胸まわり』が大和言葉です。『食物』と『食べ物』、『住居』と『住まい』、『睡眠』と『眠り』のように、私達日本人は多くの事柄を漢語と大和

言葉の両方で表現出来ます。外来語を加えると、『果実』『菓物』『カラー』と、その時の気分やその場の雰囲気を使い分ける事が出来ます。しかし漢語や外来語が増えて、多くの大和言葉が忘れられているそうです。

では大和言葉はどこなところか他の言葉と違うのでしょうか。それは心の深いところまで届くという事。大和言葉の言葉の作られ方や音の響きには日本列島で暮らしていた私たちが先祖の感性や美意識が映し出されているからだと言われています。

近年、この大和言葉が注目されているそうです。それは、ネット社会が到来し、文章を書く機会が増えたこと、以前なら取り立てて伝えようとしなかった事柄や電話で伝えていた事を、メールやラインで伝えたり、ブログで表現したりするようになったからです。次号ではこの大和言葉を手紙やメールでどのように表現するかの例を紹介させて頂きます。(たかはしこうじ(ことば研究家)ラジオトークより引用)

## ステンレスの熱伝導性

数か月前、スーパーの台所用品売り場に、なんとSUS304の鍋がありました。『なんと』と書いたのは、ステンレスはアルミや銅に比べて熱伝導性が低く、鍋底の横方向温度分布が不均一になり、炎直上地点に沿って高音部分で焦げが発生しやすく、また下地材の強度と耐食性が強い為

に焦げ付き膜が剥離・除去しにくいというため、こげの除去も大変だという認識があったからです。

このステンレス鍋のパッケージには錆に強いというセールストークが印字されていました。しかし、熱伝導性の悪さという致命的な欠陥を持っています。でも、鍋物や煮炊きでは使えるかもしれないし、実際に経験

する事も今後の仕事に役に立つかもしれないと思い、コンパクトなサイズにも惹かれて購入しました。結果は煮炊きでも見事にこげが発生し、そのこげは洗剤とスポンジでは除去が困難だということを目の当たりにして勉強しました。この鍋、どうしよう(汗)。

